

..... \かしわ愛を込めて/

ふるさと産品お届け便

市で生産・加工された製品など、柏を象徴する特産品を「柏市ふるさと産品」に認定しています。このコーナーでは、ふるさと産品の魅力と生産者のこだわりを紹介します。



詳しくはこちら

第8回 小さな襖(ふすま) 絵「さくら」



手描きの襖絵の魅力を
多くのかたに届けたい

10cm×10cmのコンパクトサイズ。
優しい色使いが特徴です



襖絵師・島田由子(よしこ)さん

【問い合わせ】

☎080-3442-8998

大切なお部屋を穏やかで過ごしやすい空間に

和室の仕切りでおなじみの「襖」。学生時代から襖絵が好きで、大学卒業後、加飾(かしよく)紙の制作会社で襖絵の仕事に関わり、以来、市内で襖絵を描き続けています。現代の住空間に求められている襖絵の役割を「日々の暮らしに、穏やかさと晴れやかさを添えること」と話す島田さんの絵は、主に木や草花をテーマにしています。印刷で再現が難しい繊細なグラデーションや箔(はく)の輝きが生かされていて、その絵が自然と部屋に溶け込み、居心地の良さを演出します。

島田さんが描く際に最もこだわっているのが構図。発注者の過ごしたい場所のイメージを聞き取り、一緒に考えながら絵の配置や色合いを考えるため、一つとして同じ絵はありません。



丈夫な襖紙に墨と水干絵具(すいひえのぐ)で描きます

小さな襖絵「さくら」も1枚の大きな襖絵として描き、その一部を切り取り仕上げたもので、一枚一枚表情が異なるのが特徴です。

「襖絵という日本の伝統をなくしたくない。魅力をもっと知ってもらいたい」と話す島田さん。和室が減少している現代では、襖ではなく、パネルに襖紙を貼り付けるなど、時代の変化にも対応してきました。

古来から続く日本の伝統「襖絵」で、穏やかで過ごしやすいあなただけのこだわりの空間を演出してみませんか。

今月のプレゼント

締め切り
12/11(月)

小さな襖絵「さくら」 2名様

【応募方法】

市内在住のかたで、次のいずれかで
▶市のホームページにある入力フォームで
▶はがきに「ふるさと産品お届け便」と明記し、3ページ下の必要事項と、広報かしわ12月号の感想を書いて、〒277-8505 柏市役所広報広聴課へ郵送(必着) ※応募は1人1回。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます



応募はこちら

市の情報をもっと知りたい!

柏市オフィシャル
ホームページ



柏市公式
LINEアカウント



柏市公式
エックス(旧ツイッター)



広報誌の配布に関する 問い合わせはこちら

広報かしわ宅配コールセンター

☎0120-276-673

受付時間/午前8時30分~午後5時15分

※土・日曜日、祝日、年末年始を除く

柏市の人口

※R5.11.1現在()内は前月比

世帯数 197,937世帯(+334世帯) 総人口 434,361人(+330人) 男 214,333人 女 220,028人

携帯電話や松戸局(047局)から本誌の市外局番のない番号にかけるときは最初に「04」を付けてください

電話での問い合わせが困難な場合はファクス
7166-8289もご利用ください



古紙配合率70%再生紙と植物油インキを使用しています。また、見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。